



鶴居診療所

押味和夫所長

退任のご挨拶

短い間でしたが、お世話になりました。

昨年4月に村立鶴居診療所長を拝命しました。村の診療所ですので、外傷の処置、救命・救急処置、腰痛や関節痛などの整形外科的治療、子供の診療が必要ですし、24時間診療が望ましいのですが、そのいずれもが満足のいく対応が難しく力不足を感じました。

代わりに来てくださるいい先生が見つかりましたので、この度バトンタッチすることとしました。短い間でしたが、大変お世話になりました。

別件です。この場を借りまして、皆様にお礼を。これまで2014年から毎年夏に鶴居リンパ腫ワークショップという研究会を鶴居村で続けてきましたが、ここ3年半はコロナのために開催できませんでした。ようやく今回再開できましたが、どうにも寄る年波には勝てず、今回が最終回になりました。最終回は私が世界で最も美しい冬と固く信じています道東の冬を見ていただこうと、初めて冬に開催しました。タンチョウ見学、阿寒湖のワカサギ釣り、オホーツク海の流氷見学です。幸い天気にも恵まれ、最高の会になりました。研究会では、ハーバード大学やイェール大学などの世界的に有名な教授の講演があり、しかも彼らのなかには2日目からのバスターに参加してくれる方もいました。最近の学会はコロナ禍のためにオンラインでの会が多く、若手医師のなかには久しぶりに直接議論が出来た、久しぶりに高名な人と親しく接することができた、と喜んでいる人が多くみられました。

これまでの夏の研究会では、カヌー、ラフティング、釣り、乗馬、ゴルフ、チーズ作りなどをしてきましたが、これらのアウトドア活動は村の皆さんの協力がないと実行できませんでした。改めてこの場を借りまして村の皆様にお礼を申し上げます。



鶴居診療所

八木啓一所長

就任のご挨拶

この度、鶴居診療所長を拝命いたしました八木啓一です。

大阪府出身ですが、医師となつてからは医局人事により全国各地で勤務してきました。この間の経歴の大部分は救急医療でした。若くて元気な頃はテレビで見るとような三次救急現場で活躍していました。救命救急センターを退職後は老人施設専門の訪問診療を経験し、最近では内科・脳外科・老年科を標榜するクリニック勤務を行っていました。ただいつかは自然豊かな環境で暮らしたいとの想いを募らせていたところに、かつて一緒に働いた養生邑病院長の浦先生からお声掛けいただきました。

今後は地元の方々健康管理に精一杯努めたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

八木啓一所長 経歴

鳥取大学医学部 卒業

大阪大学医学部附属病院特殊救急部 入局

阪和記念病院脳神経外科 勤務

愛知県厚生連・海南病院外科 勤務

セントルイス大学麻酔科(米国) 勤務

兵庫県立西宮病院救急医療センター医長

防衛医科大学校病院救急部(埼玉県所沢市)

講師

大阪府立泉州救命救急センター副所長

青梅市立総合病院救命救急センター長

鳥取大学医学部救急災害医学教授

・附属病院救命救急センター長

横浜市立みなと赤十字病院

救命救急センター長・院長補佐

つばさ総合診療所(埼玉県入間市)勤務

しんまち総合クリニック(東京都青梅市)

院長